

昭和館 巡回特別企画展

戦中・

戦後の

くらし

長崎展

入場無料



竹槍訓練に励む大日本国防婦人会・佐世保市
昭和18年(1943)頃 個人蔵
樹林舎「写真アルバム 佐世保・北松浦の昭和」より



ポスター「海軍工員大募集」戦中



ポスター「長崎の鐘」昭和25年(1950)
©1950 松竹株式会社



平和公園で写生をする子どもたち・長崎市松山町
昭和31年(1956) ジュリアン・ブライアン撮影

2019年
11/30 [土] ~ 12/15 [日]

午前9時~午後5時30分

※初日は午前9時よりオープニング・セレモニーを行います。

【会場】長崎歴史文化博物館 3階企画展示室

【所在地】長崎市立山1丁目1-1

【主催】



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575



■協賛/一般財団法人長崎県連合遺族会及び一般財団法人日本遺族会第5ブロック

■後援/長崎県 長崎県教育委員会 長崎市 長崎市教育委員会 長崎新聞社 西日本新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社
NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NIB長崎国際テレビ NCC長崎文化放送 長崎ケーブルメディア エフエム長崎



厚生労働省委託事業

昭和館 巡回特別企画展

戦中・戦後の くらし 長崎展

被爆した浦上天主堂・長崎市本尾町 昭和20年(1945) マッカーサー記念館提供

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし 長崎展」を長崎市において開催する運びとなりました。

本展では、長崎県の実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かったくらしを紹介します。



内閣総理大臣表彰を受けた永井隆博士
昭和25年(1950)



ソル茶ん前で出征風景・長崎市油屋町
昭和12年(1937)
川村忠男提供
樹林舎「写真アルバム 長崎市・西彼杵の昭和」より

I. 出征 ～家族との別れ～

無事を祈る

II. 戦争が始まった ～戦中のくらし～

1. さまざまな統制 2. 戦中の子どもたち 3. 空襲、そして終戦

III. 戦争が終わって

1. 廃墟からの出発 2. 遺された家族

IV. たくましく生きる ～戦後のくらし～

1. 戦後の子どもたち 2. 復興に向けて

特設
コーナー

●長崎ポスターコーナー

●慰霊の旅

遺骨収集、慰霊巡拝

●特別展示 永井隆『この子を残して』(仮)

せんしろうしょ 『戦史叢書』『陸軍・海軍部隊略歴』検索・閲覧コーナー

東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※『戦史叢書』とは、旧・防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。

※『陸軍・海軍部隊略歴』は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。

学校団体(小・中・高)での見学にも対応します 要予約

児童・生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は昭和館学芸部まで直接お申し込み下さい。



 **昭和館** 学芸部【月曜日休館】
TEL.03-3222-2577

アクセス

- ◎路面電車「桜町」電停下車、徒歩5分
- ◎路面電車「公会堂前」電停下車、徒歩7分
- ◎路線バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩3分
- ◎県営バス(風頭町行)「歴史文化博物館」バス停下車(1時間毎)
- ◎長崎自動車道(長崎苅塚IC)より、諏訪神社方面へ10分

